

事業の名称： 松笠納涼盆踊り大会の再開

団体名	松笠振興協議会	事業費	264,716円
代表者	会長 板持 保吉	補助金交付額	200,000円

現状と課題

毎年開催してきた納涼盆踊り大会だが、コロナ感染症のまん延により直近3年間は事業が中止となっている。また、他地区同様松笠地区も高齢化が進み、年々地域行事の担い手不足が顕著となっている。

今までどおりのやり方ではだんだんと開催が難しくなって来ており、現状にあわせた実施方法の見直しや組織体制の見直しが必要。

事業の目的

コロナ禍で3年間中止となっていた盆踊り大会を再開させることで、

- ・多世代が交流できる場を復活させる。
- ・若者世代の参加を促し、地域や行事について関心をもってもらおう。
- ・帰省する出身者も期待出来ることから、関係人口の拡大を図る。

実施内容

◇実施状況

8月14日の開催に向け6月から運営委員会を開催し検討を行った。(運営委員会5回開催)また、イベント実施後の9月には役員による反省会も実施した。

当日は降雨のため盆踊りは交流センター内での実施となったが、若者世代中心に運営した夜店(焼きそば、射的、かき氷など)をはじめお楽しみ抽選会、盆踊りと盛大な盆踊り大会となった。



◇成果と課題

盆で帰省された出身者などの参加もあり大変賑やかに、また、様々な世代が交流できる盆踊り大会となった。

一方で雨により屋外と室内で人が分散しイベントの一体感としては物足りない部分もあった。

若い世代に運営委員会への参加を促しイベント全体の企画や運営に携わってもらえる人材を育成していきたい。

滝まつりと盆踊り大会の同日開催に向け、スタッフの負担軽減に配慮しながら地域住民や出身者が気軽に参加できるようなイベントとして継続実施していくことを検討する。

運営委員会のような組織が地域内にいくつかあるが、高齢化や人口減少、人材不足により構成員が同じ顔ぶれということも生じている。各種イベントの効率的な実施を考える中で組織体制の見直しを図っていきたい。

